

2180 | フランス語上級

2 単位 (通信授業 2 単位)

藤田尊潮教授、澤村さち子講師

授業の概要と目標

原文で美術関係の文献を読むことによって、フランス語の読解力を養うとともに 20 世紀美術界の大きな流れを理解する手がかりにしたいと思います。教科書は『マン・レイ「インタビュー」』を使用します。この本は、Man Ray, Ce que je suis et autres textes (Paris, Hoebeke, 1998) から「L'interview de camera」という章を抜粋し編集したものです。この教科書の中でマン・レイはあるときは皮肉っぽく、またあるときはユーモアに富んでいて、まさに彼の作品を彷彿とさせるようなさまざまな表情を見せています。彼のことばに接することによって、私たちは 20 世紀美術という大きな流れの一端に触れることができるでしょう。文章はおおむね平易ですし、巻末には詳細な注が付けられていますから、フランス語の初級文法を習得した学生なら辞書を使って読み進めることができると思います。ともかく、一年間で一冊を読み上げてみましょう。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書の p.5 ~ p.21 の範囲でレポート課題。

○通信授業課題 2

教科書の p.22 ~ p.39 の範囲でレポート課題。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書本文全体 p.5 ~ p.39 までを使用します。

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分を中心に出题します (記述式)。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2~4 年次

[履修条件] 「フランス語初級」(2006 年度以前では「フランス語 I」) の単位を修得していること。または、相当する学習歴を有すること。

※ 2006 年度までに「フランス語 II」の単位を修得している場合は履修できない。

[備 考] フランス語の初歩を学び終えた学生を対象にした上級クラスですから、辞書を使ってある程度フランス語の文章を読むことができる必要があります。

またフランス語に多少とも興味があり、原文で美術関係の文献に接してみたいというやる気を持った学生の履修を希望します。

教材等

教科書：藤田尊潮編注『マン・レイ「インタビュー」』(武蔵野美術大学出版局 2002 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年)

その他

推薦辞書：『ディコ仏和辞典』(白水社 2003 年)

推薦参考書：『パリのミュージゼでフランス語!』(白水社 2002 年)